

自立支援協議会の活用と各機関と

「身近な相談者」の連携について

平成28年度より基幹相談支援センターがスタートし、地域の相談窓口が増えました。横浜市自立支援協議会では基幹相談支援センターの詳細な定期報告が行われています。また、横浜市自立支援協議会には課題検討部会があり、各区の地域課題を挙げていく機能を持っています。各区の自立支援協議会を活用し、地域課題をあげ、具体的に解決していく取り組みが始まっています。

一方で計画相談が導入されたことにより、相談支援事業所との連携も増えてきているかと思えます。身近な相談者は利用者の情報を一番持っています。基幹相談支援センターや、計画相談事業所と連携を取っていくことで各事業所の在り方も見えてきます。利用者にとって一番身近な事業所（地域活動支援センター、就労継続B型、グループホーム等）や生活支援センターの連携が利用者の生活の幅や質を左右すると言っても過言ではありません。より良い連携が取れるよう、また現状としてどういう課題があるのかを意見交換すると同時に、アセスメントの重要性を確認できればと思います。

日時：平成29年3月3日（金）18：30～20：30

場所：健康福祉総合センター 大会議室8A

報告者：霜島 亜矢氏

（あかね工房施設長、横浜市自立支援協議会委員）

コメンテーター：藤井 達也氏（上智大学教授）

市精連会員団体の方：500円

会員以外の方：1000円申し受けます。

当事者の方は無料です。

よろしければ、下記までFaxにてお申込みをお願い致します。

FAX 送付先： 045-263-8101 市精連事務局

事業所名	氏名（複数名で参加される場合は人数をご記入ください）

問い合わせ： 045 - 263-8100 市精連事務局